

## 地盤解析結果報告書

### 「基礎仕様考察」

物件番号	K14010001		
依頼会社	株式会社ハウスホーム		
物件所在地	東京都千代田区丸の内1-1-1		
物件名	住宅 太郎様邸		
調査方法	スウェーデン式サウンディング試験		
建物構造	木造2階建て	ベタ基礎	設計荷重 20 kN/m <sup>2</sup>
基礎仕様	ランマー転圧 + ベタ基礎		
考察	基礎底面より5m以内に自沈層の存在が認められ、長期許容支持力度(基礎底から2mの範囲の平均値)は、設計荷重の数値には若干満たないデータとなっているものの、各測点の予想圧密沈下量(基礎底から5mの範囲の合計値)は許容水準である10cm未満に収まっており、各測点を結ぶ測点間傾斜角も許容水準である5/1000未満に収まっている。各測点の地層がほぼ均一なこととベタ基礎の構造特性を考慮すると、入念なランマー転圧を施した上で、ベタ基礎の採用が可能と思われる。		
特記事項	入念なランマー転圧が必要です。(別紙参照) ランマー作業中に、水が出てきた場合は判定が変更になります。ご一報下さい。 保証の適用にはランマー転圧時の写真が必要です。 保証申込後、保証書発行依頼時まで写真の提出をお願いします。		

### 【注意事項】

図面に記載が無い(または事前に通知のない)、既存の擁壁や5年以内の既存盛土に関しては検討の対象外です。  
新規の擁壁や盛土など検討に影響の出る計画をしている場合は必ずご連絡下さい。  
擁壁・間知石等の土留めは、建築に必要な強度があることを前提に解析しています。  
擁壁・間知石等土留め自体の沈下・損壊を原因とする建物の沈下は保証対象外となります。  
建物の配置や設計数値の変更などがある場合は再度検討が必要になります。  
未通知の項目に起因して発生した沈下事故については保証の対象外となるので注意して下さい。  
圧密沈下計算をする際の前提条件は、別紙に記載してあります。スウェーデン式サウンディング試験の場合  
行政や住宅瑕疵担保責任保険法人等からの指導があった場合は、別途検討の必要が発生する場合があります。  
予めご了承下さい。

### 特定非営利活動法人 日本住宅共済制度

〒461-0040 愛知県名古屋市中区東区矢田1-9-22 第1麦ビル301 TEL : 050-3536-8599 FAX : 050-3737-6856